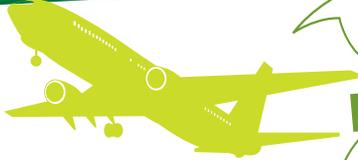


オージーの余暇

Q7のアンケート結果からオーストラリア人がなぜそこまで“旅行”に行けるのか、その“旅行”をするための「余暇」の使い方を検証してみました。また、オーストラリアでその「余暇」を楽しむための工夫を編集部から提案します。

オージーはたくさん旅行をする!?

本誌アンケート調べでは(P9参照)、オーストラリア人は日本人に比べ、年に複数回旅行をする人が多いという結果がでました。オーストラリアは比較的新しい国家のため祭事が少なく、年間の祝日(①)が日本よりも少ないです。しかし、有給消化率が世界で最も低いとされる日本よりも、オーストラリアは年次有給休暇(②)が申請しやすい環境があります。また、オーストラリアは、個人事業主(③)が多いことでも知られています。フリーランスとして仕事を行なう彼らは、自分の意思で休みを都合することができるため、旅程も立てやすくなります。



① 祝日

2016年から「山の日」が国民の祝日に追加されたため、日本では年間16日の祝日があります。一方、西オーストラリア州では、曜日との兼ね合いにより若干日数が上下することもあります。基本的に11～12日と日本より少なくなっています。

出典：日本国内閣府、Australian Government Fair Work Ombudsman

② 年次有給休暇

オーストラリアでは年次有給休暇を“Annual leave”と言います。日本では、勤続年数が長くなるごとに年次有給休暇が取得できる年数が延びていき、最大1年間で20日の年次有給休暇となります。オーストラリアでは職種などにもよりますが、1年間フルタイムで働くことで基本、4週間分の年次有給休暇が発生します。

出典：日本国厚生労働省、Australian Government Fair Work Ombudsman

③ 個人事業主

2009年時点で、オーストラリア国内の実に29.5%が個人事業主だったという調査結果が発表されています。

出典：Australian Bureau of Statistics

パース
ならではの
“門出”
提案

⑤ 自然と触れ合う

美しい自然に囲まれたパースは、年間を通して晴天日の多い街としても知られています。特に、夏の時期は雨が少ないので、アウトドアのアクティビティを満喫しましょう。

⑥ 計画を立てずに旅をする

計画通りの旅行も素晴らしいですが、スケジュールに縛られない旅も違った良さがあるはずです。安全の確保だけは忘れずに、自由な旅を楽しんでみてください。

オージーは運動を欠かさない!?

ウォーキングやランニング、サイクリングなどの運動をしているオーストラリア人の姿を見かけることは多いでしょう。実際、オーストラリア人の運動参加率(①)は、日本人に比べ高く、運動への関心の高さが窺えます。また、日本よりも長い日照時間(②)によって、例えば、仕事前後の時間を運動にあてることもできずし、運動参加率が高いというのも頷けます。また、自由に参加できるスポーツクラスも充実しており、ゼロから運動を始めた人にとっても始めやすい環境と言えます。オーストラリア政府のスポーツへの助成金(③)も日本に比べて高く、政府が国民の運動を支援しています。



① 運動参加率

2009年の運動・レクリエーション・スポーツ調査で、15歳以上のオーストラリア人の69.5%が、週1回は何らかの運動をしているという結果があります。日本では、週1回の運動参加率が45.3%でした。

出典：日本国文部科学省、Australian Bureau of Statistics

② 日照時間

東京の年間平均日照時間は5.7時間、それに対してパースの年間平均日照時間は9時間とかなりの差があることがわかります。

出典：日本国総務省統計局、Australian Bureau of Statistics

③ 助成金

オーストラリアの2010年のスポーツ関連予算は、約3億1,058万ドルで、その内政府からの助成金は約2億4,803万ドルでした。それに対して、日本の2015年スポーツ関連予算は2,500万円でした。

出典：日本国文部科学省

パース
ならではの
“門出”
提案

⑦ 朝の運動を取り入れる

朝日を浴びながらの運動はまさに一石二鳥。運動するのに最適な環境も整っているため、朝起きたらまず外へ出て体を動かしてみましょう。

⑧ スポーツクラスに参加する

体は動かしたいけど何をしたらいいかわからない、自分だけでは続けられないという方には、スポーツクラスがおすすめです。新たな出会いも期待できるかもしれません。